



# みよし

令和3年11月22日

文責 久保島 修

## 谷二っ子★輝く充実の秋

秋の深まりと共に、谷村第二小学校では日々、充実の教育活動が行われています。新型コロナウイルス感染症感染の終息については、まだまだ油断ができない状況下にあっても、子供たちの学びを保証するために保護者・地域の皆様方の御理解と御協力のもと、輝く谷二っ子の姿が実現できておりますことに心から感謝申し上げます。

11月は晴天で暖かい日が続きましたが、来週からはよいよ12月。冬らしい気候となってきそうです。インフルエンザも新型コロナウイルスも感染予防のための行動は基本同じです。子供たちはもちろん、御家族・地域の皆様にも感染予防のための行動様式をお守りのうえに今年を締めくくられますようお願いしております。



### ☆校長雑感（学校の様子から・・・「匿名お断り」）

「〇年〇組，〇〇〇〇です。〇〇先生いらっしゃいますか。」

職員室に入ってくる児童は、必ず自分の名前を名乗ってから、用件を告げるようになっていきます。授業中や始業時間前登校した児童も全員、職員室で断ってから教室に入ることになっています。休み時間も放課後も同じで一日中続きます。うっかり忘れて用件だけを告げる児童には、「学年と組と名前を教えてください」と、たとえ対応している職員が知っていても言い直しをさせています。



谷村第二小学校には「わたしは職員室に入る時、学年・名前・用件をはっきり言います」と職員室の入口には貼られています。話し方のマナーを身につけると同時に、自分のことをはっきり言えるということはとても大切なことです。

あるタクシーに乗ったとき、「〇〇がご案内します」と運転手さんが名前を告げたことがあります。その一言で、行き先を伝える私の言葉が明るくなりました。相手が匿名でなく、名前を知ることによって人と人とが関わる距離がぐっと近くなります。そのよさを、子供たちもきっと学んでくれるのではないかと考えています。

以前、私が担任した6年生の子供たちが、お世話をしていた1年生の名前をみんな覚えていて驚いたことがあります。「すごいね」と私が感嘆すると、子供たちは「当たり前でしょ」という反応でした。そして1年生も6年生の名前をみんな覚えていたのです。1年生のお世話をするのではなく、〇〇ちゃんのお世話をするという関わり方は、6年生のお兄さん・お姉さんに教えてもらったのではなく、〇〇さんに教わったという人間関係をつくっていたのです。その子たちには、最初に「私は〇〇です。あなたの名前を教えてください」という出会いをさせていました。ちょっとした習慣づくりが、豊かな人間関係を築ける人になっていくきっかけになるものです。

今私たちの生活には、匿名で済ませてしまっている場面がたくさんあります。もちろん匿名でなければならぬ部分がないわけではありませんが、互いに名前を知り合う関係をつくられることが大切ではないかと思えます。小さい頃から、必要に応じて自分のことをしっかり告げられるということは、子供たちのこれからの生活にどれほどプラスになることでしょうか。用事があった先生が不在で、職員室を出ていった〇〇君。後でその先生に「〇〇君が先生のことを探していましたよ」と伝えるとき、私の心も何となくソフトになる気がします。いじめに代表されるような屈折した人間関係を生み出さないための手だては、平素からのこんな些細なところにあるのかもしれない。



# ~~~~「親子体験教室」の様子(10月30日)~~~~

【ウッドクラフト】 講師：志村孝様・小林進様



【陶芸】 講師：青木宏希先生・山本直紀先生 大学生5名



【絵手紙】 講師：前田芳江様・坂本友子様・廣瀬信子様



【しめ縄】 講師：志村達男様・鈿持貢様・渡辺亨様



【手芸】 講師：森屋愛子様



## .....修学旅行の様子(11月4日・5日).....



1日目の午前中は「富士山本宮浅間大社」,「久能山東照宮」(ここでは、ミニ班別行動を行いました)など主に徳川家にゆかりのある地を訪れました。午後からは「東海大学海洋学部博物館」と「東海大学自然史博物館」の2つの博物館で、海と魚のことや恐竜の生きていた時代や魚類や両生類、爬虫類の進化等を学びました。

2日目は国の特別史跡である「登呂博物館」で「火起こし体験」や水田跡、復元された高床式倉庫、住居、祭殿などの見学や学習を行い、「静岡県立地震防災センター」では、地震や自然災害についての知識を「知る」「備える」「行動する」視点で体験・学習しました。午後からは、「富士山」や「三保の松原」を望む「富士山清水みなとクルーズ」を楽しみました。